

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 ⇄ 函館
AOMORI HAKODATE

2016年 7月 5日

東日本旅客鉄道株式会社

「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」が開幕！

「カシオペア+新幹線はやぶさ号」で行く旅が登場

～この夏、列車で行く青森・函館の旅をお楽しみください～

2016年7月1日(金)、「青森県・函館デスティネーションキャンペーン(以下、青森県・函館DC)」が開幕いたしました。青森県・函館DCは、JRグループが地元自治体、観光事業者等と連携して開催する観光キャンペーンとなります。北海道新幹線の開業により、ひとつの観光エリアとなった青森県・函館エリアの魅力を全国の皆様に感じていただけるよう、地域一体となったおもてなしでお客さまをお迎えします。

また、JR東日本では青森県・函館DC期間中、寝台列車カシオペアと人気の新幹線はやぶさ号で行く旅を設定します。カシオペアで、移りゆく車窓からの眺めを楽しみ、北海道新幹線で青函トンネルを駆け抜けて函館へと入る列車の旅をぜひ、お楽しみください。

1. 「カシオペア+新幹線はやぶさ号」で行く旅

青森県・函館DC期間中に、「カシオペア」車両での一泊と「新幹線はやぶさ号」をセットにして函館に向かうツアーを実施します。上野駅から盛岡駅まで「カシオペア」でゆったり過ごし、盛岡駅から東北新幹線、さらに今年3月に開業した北海道新幹線で新函館北斗駅までを新幹線「はやぶさ号」でつなぎます。



■「カシオペア+新幹線はやぶさ号」で行く車中1泊函館の旅(片道商品)

出発日: 8月20日(土)・27日(土) 出発 (夕食: カシオペアスペシャル弁当付)



※函館エリアでの宿泊も別途ご用意できます

発売: 7月下旬頃(予定) ホームページ等で料金等の内容をお知らせいたします。

なお、旅行商品専用の団体臨時列車として運転するため、駅の窓口での一般発売はございません。お買い求めは、駅にあるびゅうプラザや予約センター等での申し込みとなります。

旅行企画実施: (株)びゅうトラベルサービス

※9月3日(土)にも青函エリアを目的地としたカシオペアでのツアーを他旅行会社で設定します。

2. 青森県・函館 DC について

7月1日(金)から始まりました青森県・函館 DC では、青森県・道南エリア各地の観光素材をPRするとともに、新たな周遊観光ルートを作ることで、多くのお客さまをお迎えいたします。各エリアでのおもてなしや、新たな観光メニューにご期待ください。

(1) キャンペーン期間 2016年7月1日(金)～9月30日(金)

(2) 開催地域 青森県全域・北海道道南11市町(函館市、北斗市、松前町、福島町、^{しりうち}知内町、^{きこない}木古内町、^{ななえ}七飯町、^{しかべ}鹿部町、森町、^{かみのくに}上ノ国町、江差町)

(3) キャッチフレーズ 「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森⇄函館」

青森県と北海道道南エリアの2つのエリアを周遊する旅のメリットを「1つの旅(ひと度)で2つの旅＝ひと旅ふた旅」と表現し、1つの旅で2つのエリアを巡ることにより、深みのある旅の思い出を作ってほしいという願いを込めたキャッチフレーズとしました。

(4) 各エリアの取り組み

青森県・函館 DC を契機として行なわれた、地域の皆さまによる観光素材の掘り起こし・磨き上げと連携し、「自然」「歴史・文化」「食・体験などの『ならでは感』」「人情・おもてなしなどの『人』」といった青森・道南エリアの魅力を元に様々な体験メニューを提案します。

【具体的な事例】



ねぶた de ライト

若手ねぶた師の活動拠点「ねぶた屋」で地域に根付く制作スタッフから技術や技法を学び創りあげるオリジナルライトの制作体験(青森市内)



黒石こみせ まちなか探訪ツアー

落ち着いた風情を感じさせる城下町の歴史や文化、なりわいなどを絶妙のうんちくを交えながら散策するツアー(黒石市内)

(5) 旅行商品について

豊かな食や温泉、自然・田園風景など様々な魅力があふれており、「津軽海峡でつながる物語」をキーワードに、その魅力を実感できる旅行商品を提案します。お求めはお近くのびゅうプラザ、主な旅行会社、JR東日本国内ツアーホームページへどうぞ。



(旅行商品の一例)

■ 旅行商品「583系で行く青森の旅、函館の旅」

寝台と座席を兼ね備え昼夜活躍した特急型寝台電車583系で横浜から出発し、新宿経由で青森・函館エリアに向かう旅行商品を設定しました。



出発日（発売日時）

- ① 8月19日（金）「583系で行く函館の旅」（羽越・奥羽本線経由、北海道新幹線利用）：7月19日（火）14時発売開始
- ② 9月23日（金）「583系で行く青森の旅」（羽越・奥羽本線経由）：8月2日（火）14時発売開始

※横浜エリア・新宿エリアの駅にあるびゅうプラザ限定の発売となります。

詳しくは、http://www.jreast.co.jp/press/2016/yokohama/20160630_y01.pdf をご覧ください。

3. イベント列車の運転について

青森県・函館DCにあわせて、多くの臨時列車を運転します。人気の「リゾートしらかみ」に新型車両が導入されるほか、SL銀河が青森県内を疾走します。魅力いっぱいの列車の旅をお楽しみください。

(1) 「SL銀河青函DC号」の運転（9/17、19）

通常、釜石線内でSL銀河として使用しているSLと客車を「SL銀河青函DC号」として、青森・弘前間で各日往復運転します。津軽平野を走るSLの雄姿にご期待ください。

(2) 「リゾートしらかみ号」櫛（ぶな）編成、新型ハイブリッド車両で運転開始（7/16から）

世界自然遺産「白神山地」と雄大な日本海の眺望が楽しめる人気の「リゾートしらかみ」。新たに7月16日より櫛（ぶな）編成は新型ハイブリッド車両で運転を開始します。



デザインは「KEN OKUYAMA DESIGN」（代表：奥山清行氏）が担当しました

(3)「リゾートあすなろ号」、「2 大半島終着駅号」の運転

津軽半島、下北半島への観光に便利なハイブリッド車両「リゾートあすなろ号」を運転します。
さらに、8月20日・21日は下北半島と津軽半島を乗換なしで行ける「2 大半島終着駅号」を運転
します。陸奥湾の雄大な眺めを大きな窓からお楽しみください。

※この他にも、期間中多くの臨時列車を運転いたします。

詳しくは駅にあるリーフレットやJR 東日本のホームページをご覧ください。